

# コロナ対策、くらし、子育て、まちづくり 日本共産党



## みなさんの願い実現に全力



# ねづ康広

磐田市議会議員

### 困った人にやさしい政治

新型コロナウイルス危機の中で、市民の多くのみなさんが、不安な毎日を過ごしています。「先が見えない」「収入が途絶える」と、多くの悲痛な声が私のところにも寄せられています。市民のみなさんの切実な願い実現のために働きます。

国政は、「桜」疑惑、「日本学術会議への人事介入」問題、「原発再稼働」など、国民の疑問になんら答えようとしていません。

私は、26年の議員活動の経験を活かし、市民の命と暮らしを守り、困った人にやさしい政治をめざしてがんばっていきます。

### プロフィール

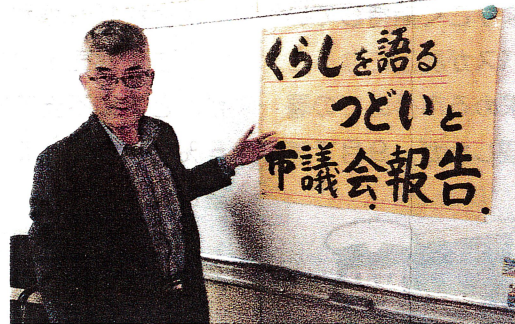
- 1955年 (旧) 竜洋町掛塚に生まれる。(65歳)
- 大藤小学校PTA会長、旧磐田市PTA連絡協議会会長、静岡県PTA大会実行委員長など歴任。
- 現在、磐田市議会議員(旧磐田市議会議員3期10年、合併後4期16年務める)
- 住所：〒438-0011 磐田市笠梅(大藤)167-1

### ① コロナ対策に支援の拡充

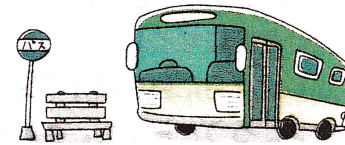
- ◎無症状者を含めたPCR検査の抜本的拡充
- ◎高齢者や基礎疾患をもった方のPCR検査自己負担1万円の軽減
- ◎中小企業や事業者に対して空調、トイレなどコロナ感染防止対策に市独自の助成を
- ◎食材や資材の納入業者にも補償を
- ◎小規模事業者、低所得世帯の支援
- ◎市立磐田総合病院をはじめとした地域医療機関と医療従事者の支援拡充

### ② 国保税、1世帯1万円の減税 —くらしの不安をなくす市政—

- ◎高齢者の補聴器購入助成金(3万円)の拡充
- ◎高齢化により免許返納が進むなか、市のコミュニティバスの運行や、デマンド型乗合タクシーの改善で買物や通院をより便利に
- ◎「健康寿命日本一・いわた」の計画策定



「市政こんだん会」を各地で行っています。



### 財源の有効活用を

市民要望実現などに自由に使える財政調整基金(貯金)が、令和2年9月現在で約72億円あります。私たちが苦勞して納めた税金は、新型コロナウイルス対策、検査の拡充をはじめ、市民の命・くらし・営業を守ることを優先して活用すべきです。

### ③ 学校給食の無料化 —子どもの教育と子育て環境の整備—

- ◎小中一体校は学校統廃合をめざすものであり、子どもや地域も困るので見直しを
- ◎コロナ禍の中で小規模校、少人数学級を活かした教育を
- ◎遊具のある自然運動公園、児童館の建設
- ◎学生が安心して学べる給付型の奨学金制度の創設を

### ④ 市民参加のまちづくり

- ◎市民文化会館の跡地は市民が集える施設に
- ◎桶ヶ谷沼・鶴ヶ池、大池、ひょうたん池などの自然保護と環境の保全
- ◎市民とのタウンミーティングの開催

### ⑤ 浜岡原発再稼働はストップ

- ◎浜岡原発の再稼働は反対。止めたまま廃炉にすることが一番の安全対策
- ◎再生可能な自然エネルギーの普及と活用を
- ◎地震・津波・火災等の防災対策と防災体制の強化